



前衆議院議員 木島日出夫

元参議院議員 笠井あきら

党呉西地区委員 坂本ひろし

党県常任委員 上田俊彦 市内平桜6450

党県政対策委員長 上田ゆみ子 市内道明17

市議会議員 砂田喜昭 市内七社245

# 侵略戦争を賛美し、日本国憲法を敵視する「つくる会」教書(歴史・公民)

## 小矢部市では使わない

### 市教委決定

### 「世界中の人々から相手にされない日本人を育てるな」 相次ぐ市民の要望実現

「60年前までに日本が行ってきた戦争は正しかった」と、歴史をゆがめる内容や日本国憲法を否定的に見る内容を子どもたちに教え込もうとする「新しい歴史教科書をつくる会」編集の歴史と公民の中学校教科書(扶桑社版)は、小矢部市では使われないことになりました。7月26日午後1時から開かれた小矢部市教育委員会会で決まったものです。

この問題をめぐって、「平和をつくる富山県連絡会(運営委員・美谷克己氏)」「や「小矢部平和委員会」のほか、富山国際大学の先生など多くの個人からも教育委員会に対して「つくる会」教科書を選択するなどの申し入れが相次いでいました。



委員会を傍聴した美谷克己氏から次のような報告が寄せられています。

「今日午後1時から小矢部市教委を傍聴してきました。

社会科については、地理・歴史・公民は東京書籍、地図は帝国書院に決定。採択区内で違ったものを使うことは、まずあり得ないので、南砺(2時から)だから、もう終わつたはず)、砺波(明日)も同様の決定をするでしょう。

委員会の様子を少し説明すると、採択協議会からの報告書(注)が配られ、それに基づいて、小矢部選出の協議会委員(中学校長)から簡単な説明がありました。

その話では、扶桑社版はほとんど問題にされなかったようです。東京書籍A、帝国書院Bというランクだったそうです。

その他では国語が光村から三省堂に変更、数学が東京書籍から啓林館に変更といった大きな変化もありましたね。(小矢部市にとっては、という意味も含めてです。今期から三省堂に変更、数学が東京書籍から啓林館に変更といった大きな変化もありましたね。(小矢部市にとっては、という意味も含めてです。今期から

### アスベストの再調査を 共産党・市教委に申し入れ

市内の学校にアスベスト(石綿)が残っていないか再調査を」と、日本共産党の砂田喜昭市議は市教育委員会教育次長に22日、参考資料を手渡しして申し入れました。

アスベストによる死亡例、全国で500人も

過去に飛散アスベストを吸い込んだために肺がんなどで死亡していた人が500名を超えていることから、社会問題になっており、国や県でも各種施設の再点検を求めています。

過去に大谷小学校でアスベスト対策十数年前の調査では、大谷小学校でアスベストが吹き付けられていたことから、1987年度に該当部分を囲い込み空気中飛散しない措置を執るとともに、1988年の夏休みに除去工事を行いました。

工事後に調べた浮遊アスベスト濃度は1リットル中、0.5繊維未満で、安全基準内でした。

石動中学の物置も同じころアスベストを除去しました。小矢部市から県への報告による。

調査漏れの可能性も

当時の調査では、設計図書を見て、吹き付け剤にアスベストが含まれている製品が使われているかどうかを調べるものでした。しかし最近、市販されているいくつかの蛇紋岩系モルタル混和材について、無

1990年当時、大谷中学校校体育館にアスベストが吹き付けられているとして富山県工業技術センターや民間会社の調査機関においてX線回折法で分析したことがありました。砂田市議が富山県工業技術センターに持ち込んだものからは温石綿(トリノタイプ)が検出されましたが、市教委が調査したものは検出されませんでした。

当時、結果に違いが出たのは分析機械の性能の違いではないかとして、結局、微量で空中に飛散しないようにすれば子どもたちに悪影響はないから、砂田市議もそれ以上の追求はしませんでした。

日本共産党は今回改めて各施設の再調査を求めたものです。



### 日本共産党創立83周年記念

笠井あきらさん (元参議院議員)

### 世界と日本の未来を語る

日本共産党創立83周年を記念して講演会が高岡市で開かれ、笠井あきらさん(日本共産党国際局次長)が世界と日本の未来について語りました。

小矢部市から参加した皆さんは、「ブラジルやチリなど、なほの国で左翼政権が広がっていることがよくわかった」と感想を述べていました。

「南米でアメリカから自立した国づくりをめざす動きが広がっている」と、外国の新聞に載った地図をひろげて訴える笠井あきらさん。7月21日、高岡市本丸会館